

平成29年度 第2回屋久島世界遺産地域科学委員会の議論の整理

課 題		主な意見	関係する機関	回 答
議事-(2) モニタリング 等の調査の 実施状況に ついて	登山者数	・今後、飛行機のジェット化等により屋久島への入島者の収容力が大きく変動した場合を想定して、入島者が多かった2005年から2010頃の状況の対応について事前に準備する必要がある。	環境省	・山岳部利用のあり方検討会において、ビジョンに盛り込み先を見据えた管理が出来るように検討したい。
	避難小屋宿泊数について	・山岳部利用者のガイド同伴の有無が、携帯トイレの利用率、携行率に関係があるかどうかを示せるデータがほしい。	環境省	・平成22年からの調査データを整理してみたい。
	高層湿原の 荒廃につい て	・湿原での保護柵設置なので、シカが何度か侵入を試みればペグの押さえは弱くなると思う。できれば早いうちに裾を引き出す、またはアタッチメントを設置して地際部の防護を強化したほうが良い。	林野庁	・今後の状況を確認しながら必要に応じてスカート等の設置を検討したい。
		・高層湿原での保護柵設置については、事前に科学委員へヒアリングしていれば対応ができたと思う。計画検討に対しては事前に委員の意見をつのってから実施することが必要である。	林野庁	・設置にあたっては、設置計画等を説明した際に意見を伺い設置したところであるが、今後の設置計画等については、委員の助言等を賜りながら進めて参りたい。
	気候変動	・降雨があるとネットには落ち葉等が滞留してしまうといった意見もあるので、それも検討して設置されたい。	林野庁	・設置後の状況等について確認して参りたい。
議事-(3) 平成30年度 の取り組み 状況につい て	SS試験捕獲	・ヤクシマダケの生育範囲が減ってスギ林が増えているといったデータだが、この変化が気候変動によるのか、単なる遷移なのか判断は難しい。ヤクシマダケの一斉更新の記録はないとあるが、これは1960年代くらいに一度全部枯れたと思うので修正されたい。	環境省	・ご助言を基に確認することができましたので、林野庁への報告書の記載内容を訂正致します。
		・西部地域は観光利用もあり、調査ではヤクシカの大きな変動は無いとも言われている。個体群もそれほど大きく移動しないといった結果もある。一番は観光利用されている場所なので、住民との連携をとる必要がある。	環境省	・平成30年度のSS捕獲試験については、西部地域では実施する予定はない。平成26年度に西部地域に餌を置いて、捕食調査をしたところ一度に5~6頭も集まることからSS以外による方法で第二種特定鳥獣(ヤクシカ)管理計画に基づき判断して参りたい。 ・SS以外の方法でも捕獲計画を行う場合は、島民や研究者との連携は、重要なことと承知しているので、十分な説明等を行って参りたい。

課 題		主な意見	関係する機関	回 答
議事－(4) ヤクシカワー キンググ ループでの 取組状況に ついて	西部地域の 管理につい て	・環境倫理を考えた上でヤクシカの捕獲や利活用について進めているという動きを見せながら、このような事業については、島民へ丁寧 に説明していくことが重要である。	環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町	・ヤクシカ対策については、保護地域内での対策を真剣に考える時 期に来ており、平成30年度にはヤクシカの計画捕獲の実施計画 や、生態系管理目標も検討・作成することとなることから、その中 で個体処理のあり方や島民・研究者等への普及啓発についても、委 員の助言を頂きながら関係行政機関が共通認識をもって検討・対 応して参りたい。
議事－(5) 山岳部にお ける利用の 検討状況に ついて	登山道の荒 廃状況等に ついて	・登山道の荒廃の問題は20年も前からやっているが一向も進展して いない。屋久島にとって、登山道はどういった作り方がいいのか、もう 少し具体的に検討する場所が必要である。	環境省	・平成28年度に山岳部利用のあり方検討会を設置しており、その 中で登山道等の利用や整備について検討している。
	高層湿原に 対する保全 対策(案)に ついて	・入ってきた水と出て行く水の収支がどうなっているのか、流路の幅 の拡大等についてもモニタリングが必要だと説明にもあったが、その あたりを数年かけて実施することが必要である。	環境省 林野庁	・高層湿原の適正管理、保全対策等については、これまでのモニタ リング調査結果や科学委員会のご助言等を基に、植生保護柵設置 による植生回復モニタリング調査の実施、水の収支や流路の拡大 等についての水文学的モニタリング調査を実施しながら保全対策を 検討していくことをご説明したところです。今回、賜りましたご助言等 を基に平成30年度に専門的に検討する場を設け具体的な保全対策 等を検討して参りたい。なお、検討状況等につきましては、科学委 員会でご報告しながら進めて参ります。なお、ご意見がありましたW GIにつきましては、すぐに設置することが困難なことから、まずは専 門的に検討する場を設けて検討して参りたい。
		・計画アセスの段階で評価できるようなWG等を立ち上げてやるべき ではないか。この問題については抜本的に対応する時期に来てい る。また、長期的な保護管理計画を策定して、それを管理していくと ころからはじめたほうが良い。	環境省 林野庁	
		・地下水の問題は沢山ある。浅いところでボーリングして、雪や雨な ど微妙なところで地下水がどう変化しているのか把握すべきなので、 モニタリングの中に地下水位の観測を入れる必要がある。	環境省 林野庁	
		・1980年以降はスギ成長に伴ってバイオマスが増加し、そのことによ る蒸散量の増加が地下水低下につながっている可能性はある。それ も含めて、どういった調査をした方がいいのか合意を取る必要があ るので行政で検討されたい。	環境省 林野庁	
・モニタリング観測カメラになるが、事業で撮影するのは限界があ るので、観光客やガイドとかが撮影した写真をどこかに投稿してもら ってマッピングするようなかたちで情報収集するほうが効率的と考える ので検討されたい。	環境省 林野庁	・基本的には関係機関で対応したいが、対応出来ない場合は、ガイ ド等への協力を得て投稿を呼びかけて参りたい。		
山岳部環境 保全協力金 について	・自分が払った協力金が何に使われているのか、きちんと説明する 責任もある。そうでないと協力してくれる人がいなくなるので、経費に ついては詳細に記載すべきである。	屋久島町	・平成29年6月16日より以下のホームページで公開しており、適宜 更新しているところです。 http://www.town.yakushima.kagoshima.jp/info-public/12474/	
議事－(6) その他	管理計画に ついて	・屋久島世界遺産地域管理計画は、科学委員の助言を得つつ順応 的管理を進めるとなっている。管理計画も7年目を迎えており、平成 34年10月に改定をするのであれば、ヤクシカの管理を含めて、だい ぶ前倒しで改定を進めていかないと間に合わないの、改定に向け たスケジュールを作る時期に達しているのではないのか。	環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町	・地域連絡会議の見直し等を含めた検討の中で、管理計画の改定 すべき点等については、山岳部利用のあり方検討会の検討結果も 踏まえ、中長期的なスケジュールについて考えて参りたい。
遺産地域の 見直しにつ いて	・遺産地域拡張といった抜本的な議論も、遺産地域の会議等で議論 したうえでやらないといけない時期にきているのではないのか。	環境省 林野庁 鹿児島県 屋久島町		